

イマズスルフロン・ピラクロニル・プロモブチド剤 バッチリ (ジャンボ /400FG)	取扱メーカー： 協友アグリ 原体メーカー： 住友化学，協友アグリ，住友化学
成分： イマズスルフロン〔スルホニルウレア系〕2.25% (ジャンボ)，2.25% (FG) ピラクロニル 5.0% (ジャンボ)，5.0% (FG) プロモブチド〔酸アミド系〕22.5% (ジャンボ)，22.5% (FG)	性状： 淡褐色細粒，水溶性パック入り 1パック40g(ジャンボ) 淡褐色粒状 (FG) 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】

〈共通〉

●ノビエだけでなく，一年生雑草から多年生雑草にいたるまで幅広く効果を示す。

●スルホニルウレア抵抗性雑草に対しても，幅広く高い効果を示す。

●効果の発現が非常に速い。

●温度による効果の変動が少ない。

●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

〈ジャンボ〉

●畦畔から40 g パックを10 a 当り10個投げ込むだけで除草剤処理ができる拡散性に優れた初・中期一発型ジャンボ剤である。

●移植直後処理が可能である。

〈FG〉

●省力性に優れた拡散性粒剤である。

【使用上のポイント】

〈共通〉

●共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 使用上のポイントを参照。

●ノビエの2.5葉期までに時期を失しないように散布する。

●多年生雑草は生育段階によって効果にフレがあるので必ず適期に散布する。

雑草名	散布適期	
	ジャンボ	FG
ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ	2葉期まで	
ウリカワ	2葉期まで (直播水稲は発生始期まで)	
ヒルムシロ	発生期まで	
セリ	再生前～再生始期まで	
オモダカ クログワイ コウキヤガラ	発生始期まで	
シズイ	草丈3 cmまで	
アオミドロ・ 藻類による 表層はく離	発生前	

【薬効・薬害等の注意】

〈共通〉

●共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。

●適用作物（水稲）及び適用外作物（いぐさ，れんこん，せり，くわい等）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

●直播水稲栽培では，稲の根が露出する条件では薬害を生じるおそれがあるので注意する。

〈FG〉

●藻や浮き草が多発している水田では，拡散が不十分となり部分的な薬害や効果不足を生じることがあるので湛水周縁散布をさけ，水田全面に散布する。

【安全対策上の注意】……………
 〈共通〉

●藻類に影響を及ぼすので、使用時並びに使用後も注意。

〈FG〉

●蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。

●無人航空機散布の際は、共通注意事項の2. 空中散布及び無人航空機（無人ヘリコプター等）による散布・滴下に関する注意事項を参照。

【適用と使用法】……………

①バッチリジャンボ

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ コウキヤガラ シズイ アオミドロ・藻類による表層はく離	移植直後～ノビエ 2.5 葉期 但し、 移植後30日まで	小包装（パック） 10 個（400g）	水田に小包装（パック）のまま投げ入れる。	1 回※
直播水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ	稲 1 葉期～ノビエ 2.5 葉期 但し、 収穫90日前まで			

※イマゾスルフロンを含む農業の総使用回数：2回以内

※ピラクロニルを含む農業の総使用回数：2回以内

※プロモブチドを含む農業の総使用回数：2回以内

②バッチリ 400FG

作物名	適用雑草名	使用時期	10 a 当り 使用量	使用方法	本剤の 使用回数
移植水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ オモダカ クログワイ コウキヤガラ シズイ アオミドロ・藻類による 表層剥離	移植直後～ ノビエ2.5葉期 但し、 移植後30日まで	400g	湛水散布、 湛水周縁散布 又は 無人航空機に よる散布	1回※
直播水稻	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ ノビエ2.5葉期 但し、 収穫90日前まで			

※イマゾスルフロンを含む農薬の総使用回数：2回以内

※ピラクロニルを含む農薬の総使用回数：2回以内

※プロモプチドを含む農薬の総使用回数：2回以内